



成果指標				
成果指標	成果は求めない。			
指標設定の考え方	災害、事故等発生時の損害を補填するための保険制度への加入事務であり、成果は求めない。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	0%	0%	0%	0
実績	0%	0%	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	現在の全国市長会市民総合賠償保険の内容の再検討(市が所有、使用、管理する施設の瑕疵及び市の業務遂行上の過失に起因する法律上の損害賠償責任を負った場合の損害を総合的に填補してもらう場合と市主催行事や市管理下のボランティア活動中の事故に対する見舞金の支出のみである)と市の間接的関与の場合に対応できる保険制度の研究を行っているが、これ以外の補償が可能になる保険制度は具体的に選択できていない。建物総合損害共済事業は、市の財産の災害による損害を相互救済することを目的としており、本年度においても何件かの損害補償を受けており、未加入の施設等の加入促進を関係課と協議し行う必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	全国市長会市民総合賠償保険については、市が所有・管理する施設の瑕疵や業務遂行上の過失に対する損害填補及び市主催行事等への見舞金支出となっているが、今後、増加しつつあるボランティア活動中の事故や市の間接的関与の場合に十分対応できる保険がないか研究する必要がある。合わせて、加入保険の種別、掛け金と補償内容についても再検討が必要である。建物総合損害共済事業については、財産台帳の見直しや関係各課との協議により未加入となっている公共施設等がないか確認するとともに、補償内容が十分か再検討する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題